

● 内政

**1 米国大使、野党関係者に対する行政機関の対応に苦言を呈する**

ゴンザレス駐ザンビア米国大使は、最近の野党関係者に対する警察などの行政機関の対応は、法の支配の適用が政権与党に有利に、反対意見に不利に偏っているように見えると指摘し、政府と警察に対し、全ての人々の完全な権利と自由を保証し、正しい法執行を強化するよう要請した。（11月3日付 News Diggers）

**2 情報公開法案、閣議を通過し議会審議へ**

ヒチレマ政権は、2021年の選挙時に公約として掲げていた情報公開法について法案を策定し、国民議会へ提出したことを明らかにした。情報公開法に関しては汚職対策やその他の目的から外交団・NGOなどから制定が強く望まれていたものであり、外交団やNGOなどからもこの動きに対して歓迎の意が表されている。（11月9日付 News Diggers）

**3 野党、合同記者会見を実施**

当地野党代表者たちは、合同での記者会見を実施した（なお参加した野党の中で国民議会に議席を保有している政党はなし）。会見では、ヒチレマ政権に対する不満が述べられ、特に野党指導者への不当な圧力について大統領の関与が疑われるとの発言があった。（11月16日付 Zambian Observer）

**4 大統領、保健の重要性を強調するとともに諸国の保健衛生分野に関する投資を促す**

ヒチレマ大統領は、11月27日にザンビアで開催されたアフリカ公衆衛生会議にて、アフリカ諸国の生産性が向上しない理由として、向上しない衛生環境に原因があるとし、ザンビアの保健予算を全体の7%から12%に増額する意向を表し

た。また、出席している関連団体などに対して、ザンビアでのワクチン（特にコレラワクチン）生産を検討するよう呼びかけた。（11月28日付 News Diggers）

● 外交・対外関係

**1 ドイツ大統領、ザンビアを公式訪問**

11月1日から2日にかけて、ドイツのシュタインマイヤー大統領は、ヒチレマ大統領の招待に応じ、ザンビアを公式訪問した。ヒチレマ大統領と会談したシュタインマイヤー大統領は、二国間関係の強化に関する議論を交わした。また、ドイツが支援する水資源に関するプロジェクトについて、1,000万ユーロの支援が表明された。（11月2日付 Daily Mail）

**2 大統領、レソトを訪問**

11月2日、ヒチレマ大統領は南部アフリカ開発共同体（SADC）政治・防衛・安全保障オーガントロイカ議長としての立場で、レソト王国を訪問した。レソトでは国内の政治プロセスの改革に向けて国王、首相、与野党幹部との会談を実施し、南部アフリカ地域全体の安定化に向けた取組を実施した。（11月3日、4日付 Times of Zambia, Daily Mail）

**3 大統領、SADC首脳会合に出席**

11月4日、ヒチレマ大統領は、アンゴラで開催されたSADC首脳会合に出席した。会合では10月31日のSADC臨時首脳会合でも議題となったコンゴ民主共和国東部の治安問題に焦点が当てられ、12月に開催を控える選挙に向けた方策が議論された。（11月5日付 Times of Zambia）

**4 大統領、欧州委員（気候変動対策担当）と会談**

11月8日、ヒチレマ大統領は、欧州気候変動対策担当委員であるウオプケ・フックストラ欧州委員（前オランダ外相）と会談した。持続可能な森林政策に関する支援についてンゾヴグリーン経済・環境大臣との間でMOUが締結された後、12月開催予定のCOP28に向けた意見交換が実施された。（11月9日付 Daily Mail, EU 代表部プレスリリース）

## 5 大統領、サウジアフリカサミットへ出席

11月10日、ヒチレマ大統領は、初開催となるサウジアフリカサミットへ参加した。アフリカ諸国とサウジアラビア王国との経済的結びつきを強化することを目的としていた同サミットにおいて、貿易・デジタル化の更なる促進を目指すことが表明され、ヒチレマ大統領はその動きを歓迎した。（11月11日付 Times of Zambia）

## 6 大統領、ドイツを訪問

11月18日から21日にかけて、ヒチレマ大統領は、G20コンパクトwithアフリカ会合へ参加のためにドイツを訪問した。最近の経済変革アジェンダが注目されザンビアとして初参加となる当会合では、マクロ経済、ビジネス、金融環境、そしてインフラ構築を強化するためのパートナーシップに焦点が当てられた。また、同会合のマージンでショルツ首相と会談したヒチレマ大統領は、ザンビアの農業部門へのバリューチェーン強化に関する投資を呼びかけた。ショルツ首相は、ザンビアの経済発展政策を賞賛するとともに、ドイツとしてザンビアのインフラ構築に関与していく意思が示された。（11月20日付 Daily Mail, Lusaka Times）

## 7 大統領、イタリアを公式訪問

11月21日から22日にかけて、ヒチレマ大統領は、イタリアを公式訪問した。2022年7月に伊マッタレウラ大統領がザンビアを公式訪問

したことに対する返礼となる。マッタレウラ大統領との会談の中では、二国間関係の強化、特に農業、エネルギー、観光、鉱業分野に関する議論が交わされた。訪問中に開催されたザンビア・イタリアビジネスフォーラムの基調講演として、ヒチレマ大統領はイタリア企業に対し、農業、エネルギー、鉱業、インフラ、保健、観光などの分野でのザンビアへの投資を奨励するとともに、参入障壁となる課題について早期解決を図るために積極的な課題提起を呼びかけた。また、訪問中には国連食糧農業機関（FAO）の屈冬玉事務局長とも会談し、ザンビアに限らず南部アフリカ地域での食糧危機について議論が交わされた。会談の中では、FAOに対してザンビアの中小規模農家への支援が要請された。（11月22日付 Daily Mail, Lusaka Times）

## 8 大統領、世界保健機関（WHO）テドロス事務局長と会談

11月27日、ヒチレマ大統領は、ルサカで開催された第3回アフリカ公衆衛生国際会議の傍らで世界保健機関（WHO）のテドロス事務局長と会談を実施した。会談の中では、公衆衛生及び輸入にほぼ全てを頼っている医薬品・ワクチンの国内製造に向けて、WHOの支援が要請された。（11月28日付 Daily Mail）

## 9 カクボ外相、韓国首相と会談

11月27日、博覧会国際事務局の総会に参加するためにパリを訪問中のカクボ外相は、韓国韓惠洙首相と会談した。会談では二国間関係の強化に重点を置き、両国が合意した戦略的貿易・投資分野について議論が交わされた。また、韓惠洙首相からは、2024年に韓国大使館を再開させ、二国間関係を深化させたい意が表された。（11月28日付 外務・国際協力省プレスリリース）

## 10 大統領、米国疾病予防管理センター（CD

### C) 関係者と会談

11月28日、ヒチレマ大統領は、ルサカで開催された第3回アフリカ公衆衛生国際会議に参加していた米国CDC関係者と会談を実施した。会談の中では、米国の継続的な医療支援（HIV・結核など）に対して謝辞が述べられるとともに、輸入にほぼ全てを頼っている医薬品・ワクチンの国内製造に向けて、米国CDC及び米国企業の支援が要請された。（11月29日付 Times of Zambia）

(了)